

平成18年度事業実績

学校法人総持学園

I 法人の概要

1. 設置する学校・学部・学科・入学定員・学生数等

(平成18年5月1日現在)

学 校 名	学 部 ・ 学 科 等 名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	$\frac{(b)}{(a)}$	収容定員 (c)	現 員 (d)	$\frac{(d)}{(c)}$
鶴 見 大 学	大 学 院	人	人		人	人	
	文学研究科 日本文学専攻・博士課程前期	6	6	1.00	12	11	0.92
	・博士課程後期	3	1	0.33	9	5	0.56
	英米文学専攻・博士課程前期	6	0	0.00	12	3	0.25
	・博士課程後期	3	0	0.00	9	4	0.44
	文化財学専攻・博士課程前期	4	2	0.50	8	6	0.75
	・博士課程後期	2	0	0.00	6	6	1.00
	歯学研究科 歯学専攻 ・博士課程	18	14	0.78	72	62	0.86
	大 学 院 計	42	23	0.55	128	97	0.76
	文学部						
	日本文学科	90	102	1.13	390	469	1.20
英語英米文学科	90	104	1.16	390	446	1.14	
文化財学科	60	72	1.20	240	310	1.29	
ドキュメンテーション学科	60	75	1.25	180	216	1.20	
歯学部							
歯 学 科	160	128	0.80	960	823	0.86	
大 学 計	460	481	1.05	2,160	2,264	1.05	
鶴見大学短期大学部	国 文 科	100	0	0.00	200	38	0.19
	保 育 科	200	235	1.18	400	480	1.20
	歯科衛生科	150	162	1.08	450	488	1.08
	短期大学部 計	450	397	0.88	1,050	1,006	0.96
	専攻科 保育専攻	20	20	1.00	20	20	1.00
	福祉専攻	40	30	0.75	40	30	0.75
専 攻 科 計	60	50	0.83	60	50	0.83	
鶴見女子高等学校	全日制						
	普 通 科	480	149	0.31	1,440	434	0.30
	経済情報科	80	0	0.00	240	35	0.15
高等学校 計	560	149	0.27	1,680	469	0.28	
鶴見女子中学校		190	35	0.18	570	110	0.19
鶴見大学短期大学部 附属三松幼稚園		—	—	—	280	252	0.90
合 計		1,762	1,135	0.64	5,928	4,248	0.72

2. 教 職 員 数

(平成18年5月1日現在)

			大 学			短 大 部	歯学部 附属病院	幼 稚 園	学 生 寮	計	高 中 校			合 計
			文学部	歯学部	計						高等学校	中学校	計	
教 職 員	専 任	教 授	24	25	49	23				72				72
		助 授 授	8	25	33	8				41				41
	教 員	講 師	7	37	44	4				48				48
		助 手		116	116					116				116
		教 諭							12	12	39	16	55	67
		計	39	203	242	35		12		289	39	16	55	344
	職 員	55	89	144	36	108		1	289	9	1	10	299	
数	専任教職員合計		94	292	386	71	108	12	1	578	48	17	65	643
	兼務教員		127	47	174	74	205			453	14	2	16	469
	合 計		221	339	560	145	313	12	1	1,031	62	19	81	1,112

Ⅱ.平成18年度 事業実績の概要

大学・短期大学部

1. 施設・設備（教育・研究条件の改善充実）決算額

- ①獅子ヶ谷グラウンドの整備改修工事等 299,330千円
- ②1号館学生厚生部跡等の整備改修工事 141,750千円
- ③病院棟1階内科診療室・矯正科医局改修 65,100千円
- ④病院棟地下1階男女ロッカー室改修工事 28,665千円
- ⑤4号館4階保育科教室の改修工事
ML装置の老朽化に伴う新システム改修工事
41,412千円
- ⑥バリアフリー対策工事等(学生の安全対策・環境整備)
1・5・6号館等アクセス経路の車椅子対策工事
11,970千円
- ⑦1号館教室の改修工事
ドキュメンテーション学科学年進行に伴う
AV機器等整備改修工事 29,389千円
- ⑧マルチメディアの整備事業「第二期」 9,245千円
- ⑨図書館新システム更新事業 9,103千円

2. 学生募集

- ①入試センターの設置
平成18年4月入試センターを設置し活動開始
- ②多様な入試制度への改善
大学文学部 平成20年度からセンター試験の導入決定
- ③オープンキャンパスの充実
小論文・面接対策講座や学食体験を取入れた自由移動形式として開催
- ④留学生・社会人等の受入の促進
大学文学部・短大部 社会人特別選抜入学枠により
7名在学
大学文学部 障害者 2名在学
大学歯学部 留学生 3名在学

3. 教育・研究

- ①魅力あるカリキュラムへの改善
大学文学部 共通（教養）科目のカリキュラム改編
大学歯学部 共用試験、新々カリキュラムの導入、総合学力判定試験の実施
短大部歯科衛生科 歯科衛生士学校養成所指定規則の一部改正に合わせたカリキュラムの見直し
- ②学生による授業評価の継続
大学・短大学生による授業評価の継続的実施
- ③国際交流の推進
大学文学部 韓国外国語大学校と学術協定等締結
大学歯学部 中国、韓国、アメリカ、スウェーデン、ドイツ、インド等との学術交流等を実施
短大部保育科 シリア・アラブ共和国よりJICAによる研修生受入
- ④市内大学・県内大学院の単位互換等の推進
大学文学部 本学派遣3大学5名、受入4大学22名
文学研究科 本学受入2大学2名

- ⑤生涯学習セミナーの拡充
平成18年度94講座、受講者数2,554名

4. 学生厚生・就職

- ①学内奨学制度の充実
鶴見大学大学院奨学生を制度化し認定証授与
- ②学生へのカウンセリングの充実
- ③課外活動等の活性化
課外活動公認団体連合会が活動開始
弓道部が関東学生弓道選手権等で優勝 他
- ④キャリア教育科目の導入
大学文学部 1年生からキャリア形成教育を実施
- ⑤インターンシップ制度の充実
大学文学部 ドキュメンテーション学科でインターンシップを単位化

5. 財務

- ①第2号基本金の積み増し
歯学部施設維持引当特定資産 200,000千円
文学部・短大部施設維持引当特定資産積立 100,000千円
幼稚園施設維持引当特定資産積立 5,000千円
- ②病院人件費
歯科臨床研修制度126名採用 207,072千円

6. 歯学部附属病院の開放型病院及び地域医療機関

- との連携並びに診療科の充実促進
共同診療臨床医の登録件数612名
施設使用者件数1,139件

7. 開学記念事業寄附金募集の推進

- （募集期間3年延長、最終年次）
平成18年度寄附金額27,695千円（累計384,901千円）

高等学校・中学校

- 1. 施設・設備 231,879千円
 - ①校地の整備 改善計画に基づく整備
 - ②現校舎の解体と新校舎の建築、資金計画
改善計画に基づく老朽化した校舎の建替え
- 2. 生徒募集
大学附属校化に向けた生徒募集
学校・入試説明会、入試等の回数増
- 3. 教育・厚生
 - ①5つの約束の実現
教育ビジョン「思いやりと心の豊かな知性で社会に貢献できる女性を育てます。」の策定
 - ②学校改革の推進 カリキュラム改編の検討
 - ③国際交流 中国より3名ホームステイ受入
 - ④奨学制度の充実

幼稚園

- 1. 施設・設備（園児の安全対策・環境整備）
 - ①倉庫改修工事 4,725千円
 - ②保育室ドアの取替え更新 2,310千円
- 2. 園児募集 募集活動のさらなる展開
- 3. 教育 禅の精神に基づく教育推進
幼児坐禅を実施し、坐禅証を授与

Ⅲ平成18年度決算の概要

自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日

1. 資金収支決算総括表

(単位:円)

科 目	収 入		の		部	
	予 算		決 算		差 異	
	予 算 額	構成比%	決 算 額	構成比%	差 異 額	差異比%
1. 学生生徒等納付金収入	7,694,293,000	24.0	7,648,159,800	22.9	46,133,200	0.6
2. 手数料収入	90,296,000	0.3	94,165,510	0.3	△ 3,869,510	△ 4.3
3. 寄付金収入	126,200,000	0.4	56,825,688	0.2	69,374,312	55.0
4. 補助金収入	1,160,415,000	3.6	1,250,213,835	3.7	△ 89,798,835	△ 7.7
5. 資産運用収入	525,543,000	1.6	687,136,294	2.1	△ 161,593,294	△ 30.7
6. 事業収入	2,063,907,000	6.4	1,730,598,103	5.2	333,308,897	16.1
7. 雑収入	88,070,000	0.3	350,909,497	1.1	△ 262,839,497	△ 298.4
8. 前受金収入	2,167,365,000	6.8	2,376,503,045	7.1	△ 209,138,045	△ 9.6
9. その他の収入	1,114,092,000	3.5	1,204,120,583	3.6	△ 90,028,583	△ 8.1
10. 資金収入調整勘定	△ 2,761,055,000	△ 8.6	△ 2,719,651,721	△ 8.2	△ 41,403,279	1.5
当年度収入合計	12,269,126,000	38.3	12,678,980,634	38.0	△ 409,854,634	△ 3.3
前年度繰越支払資金	19,729,718,000	61.7	20,668,346,121	62.0	△ 938,628,121	△ 4.8
収入の部合計	31,998,844,000	100.0	33,347,326,755	100.0	△ 1,348,482,755	△ 4.2

科 目	支 出		の		部	
	予 算		決 算		差 異	
	予 算 額	構成比%	決 算 額	構成比%	差 異 額	差異比%
1. 人件費支出	6,935,157,000	21.7	6,910,867,287	20.7	24,289,713	0.4
2. 教育研究経費支出	2,443,109,000	7.6	2,153,381,094	6.5	289,727,906	11.9
3. 管理経費支出	656,015,000	2.1	568,649,819	1.7	87,365,181	13.3
4. 借入金等利息支出	14,994,000	0.1	13,880,161	0.0	1,113,839	7.4
5. 借入金等返済支出	111,900,000	0.4	110,680,000	0.4	1,220,000	1.1
6. 施設関係支出	1,068,909,000	3.3	668,289,392	2.0	400,619,608	37.5
7. 設備関係支出	364,467,000	1.1	334,025,919	1.0	30,441,081	8.4
8. 資産運用支出	2,305,000,000	7.2	2,406,030,000	7.2	△ 101,030,000	△ 4.4
9. その他の支出	418,570,000	1.3	426,308,291	1.3	△ 7,738,291	△ 1.8
10. 予備費	(0) 120,700,000	0.4			120,700,000	—
11. 資金支出調整勘定	△ 371,000,000	△ 1.2	△ 397,005,461	△ 1.2	26,005,461	—
当年度支出合計	14,067,821,000	44.0	13,195,106,502	39.6	872,714,498	6.2
次年度繰越支払資金	17,931,023,000	56.0	20,152,220,253	60.4	△ 2,221,197,253	△ 12.4
支出の部合計	31,998,844,000	100.0	33,347,326,755	100.0	△ 1,348,482,755	△ 4.2

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに支払資金の収支のてん末を明らかにするものである。

2. 消費収支決算総括表

(単位:円)

科 目	予 算		決 算		差 異	
	予 算 額	帰属収 入比%	決 算 額	帰属収 入比%	差 異 額	差異比%
1. 学生生徒等納付金	7,694,293,000	65.5	7,648,159,800	61.6	46,133,200	0.6
2. 手 数 料	90,296,000	0.8	94,165,510	0.8	△ 3,869,510	△ 4.3
3. 寄 付 金	126,200,000	1.1	654,469,567	5.3	△ 528,269,567	△ 418.6
4. 補 助 金	1,160,415,000	9.9	1,250,213,835	10.1	△ 89,798,835	△ 7.7
5. 資産運用収入	525,543,000	4.5	687,136,294	5.5	△ 161,593,294	△ 30.7
6. 事 業 収 入	2,063,907,000	17.5	1,730,598,103	13.9	333,308,897	16.1
7. 雑 収 入	88,070,000	0.7	351,819,497	2.8	△ 263,749,497	△ 299.5
帰属収入合計	11,748,724,000	100.0	12,416,562,606	100.0	△ 667,838,606	△ 5.7
基本金組入額合計	△ 1,302,195,000	△ 11.1	△ 1,341,851,399	△ 10.8	39,656,399	△ 3.0
消費収入の部合計	10,446,529,000	88.9	11,074,711,207	89.2	△ 628,182,207	△ 6.0

科 目	予 算		決 算		差 異			
	予 算 額	帰属収 入比%	消費支 出比%	決 算 額	帰属収 入比%	消費支 出比%	差 異 額	差異比%
1. 人 件 費	6,899,382,000	58.7	58.9	6,827,175,827	55.0	61.2	72,206,173	1.0
2. 教育研究経費	3,805,485,000	32.4	32.5	3,526,954,297	28.4	31.6	278,530,703	7.3
3. 管 理 経 費	869,024,000	7.4	7.4	778,695,392	6.3	7.0	90,328,608	10.4
4. 借入金等利息	14,994,000	0.2	0.1	13,880,161	0.1	0.1	1,113,839	7.4
5. 資産処分差額	0	0.0	0.0	9,143,548	0.1	0.1	△ 9,143,548	—
6. 徴収不能引当金繰入額等	0	0.0	0.0	1,330,000	0.0	0.0	△ 1,330,000	—
7. 予 備 費	(0) 120,700,000	1.0	1.1				120,700,000	—
消費支出の部合計	11,709,585,000	99.7	100.0	11,157,179,225	89.9	100.0	552,405,775	4.7
当年度消費支出超過額	1,263,056,000			82,468,018				
前年度繰越消費収入超過額	1,972,910,000			3,223,565,356				
翌年度繰越消費収入超過額	709,854,000			3,141,097,338				

消費収支計算書は、当該会計年度の消費収入（帰属収入－基本金組入額）と消費支出の内容及び均衡状態をみるためのものである。

注(1) 寄付金には、現物寄付金 597,643,879 円を含む。

注(2) 人件費には、退職給与引当金繰入額 255,013,060 円を含む。

注(3) 教育研究経費には、減価償却額 1,367,724,406 円を含む。

注(4) 管理経費には、減価償却額 212,355,040 円を含む。

3. 貸借対照表

平成19年3月31日

(単位:円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産	53,960,941,165	52,121,692,259	1,839,248,906
有 形 固 定 資 産	37,069,295,072	37,059,266,406	10,028,666
土 地	12,022,347,354	11,253,278,101	769,069,253
建 物	17,745,693,723	18,397,720,524	△ 652,026,801
構 築 物	762,070,687	606,797,683	155,273,004
教育研究用機器備品	2,234,173,269	2,599,036,916	△ 364,863,647
その他の機器備品	94,406,797	107,616,103	△ 13,209,306
図 書	4,192,898,314	4,087,554,678	105,343,636
その他の有形固定資産	17,704,928	7,262,401	10,442,527
その他の固定資産	16,891,646,093	15,062,425,853	1,829,220,240
流 動 資 産	20,595,123,588	21,315,996,871	△ 720,873,283
現 金 預 金	20,152,220,253	20,668,346,121	△ 516,125,868
その他の流動資産	442,903,335	647,650,750	△ 204,747,415
資 産 の 部 合 計	74,556,064,753	73,437,689,130	1,118,375,623

負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 負 債	4,207,660,855	4,398,892,315	△ 191,231,460
長 期 借 入 金	806,900,000	914,440,000	△ 107,540,000
その他の固定負債	3,400,760,855	3,484,452,315	△ 83,691,460
流 動 負 債	3,039,866,760	2,989,643,058	50,223,702
返済期限が1年以内の長期借入金	107,540,000	110,680,000	△ 3,140,000
その他の流動負債	2,932,326,760	2,878,963,058	53,363,702
負 債 の 部 合 計	7,247,527,615	7,388,535,373	△ 141,007,758

基 本 金 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第 1 号 基 本 金	61,570,439,800	60,303,019,541	1,267,420,259
第 2 号 基 本 金	920,000,000	845,568,860	74,431,140
第 3 号 基 本 金	900,000,000	900,000,000	0
第 4 号 基 本 金	777,000,000	777,000,000	0
基 本 金 の 部 合 計	64,167,439,800	62,825,588,401	1,341,851,399

消 費 収 支 差 額 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	3,141,097,338	3,223,565,356	△ 82,468,018
消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	3,141,097,338	3,223,565,356	△ 82,468,018
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	74,556,064,753	73,437,689,130	1,118,375,623

貸借対照表は、当該会計年度末の財政状態を表示するものである。

基本金は、学校法人の永続的維持に必要な資産を継続的に保持する為に、維持すべきものとして帰属収入のうちから組入れた金額である。

第1号基本金は、固定資産の整備充実に要した金額である。

第2号基本金は、固定資産を将来取得するために組入れた金額である。

第3号基本金は、基金として保持し、運用するために組入れた金額である。

第4号基本金は、恒常的に保持する資金として組入れた金額である。

4. 財産目録

平成19年3月31日

(単位：円)

I 資産総額		74,556,064,753
内基本財産		43,277,780,097
運用財産		31,278,284,656
II 負債総額		7,247,527,615
III 正味財産		67,308,537,138
1 資産		
(1) 基本財産		
土地	127,240.60㎡	12,022,347,354
建物	121,246.51㎡	17,745,693,723
構築物	166件	762,070,687
図書	721,675冊	4,192,898,314
<small>教具・校具・備品</small>	21,607点	2,333,474,994
その他		6,221,295,025
基本財産計		43,277,780,097
(2) 運用財産		
現金預金		20,152,220,253
その他		11,126,064,403
運用財産計		31,278,284,656
資産合計		74,556,064,753
2 負債		
(1) 固定負債		
長期借入金		806,900,000
その他		3,400,760,855
固定負債計		4,207,660,855
(2) 流動負債		
短期借入金		107,540,000
その他		2,932,326,760
流動負債計		3,039,866,760
負債合計		7,247,527,615
3 借用財産		
(1) 校地	73,607.69㎡	—————

監査報告書(写)

平成19年5月28日

学校法人 総持学園
理事会 御中
評議員会 御中

監事 村田恒夫 ㊞

監事 上村映雄 ㊞

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人総持学園寄附行為第7条第2項に基づき同学園の平成18年度(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)の学校法人の業務、財産の状況及び計算書類等、すなわち事業報告書、資金収支計算書(人件費支出内訳表を含む。)、消費収支計算書、貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。)及び財産目録について監査を行い、以下のとおり報告いたします。

1. 監査方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等から業務の執行状況並びに報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、設置されている学校において業務及び財産の状況を監査しました。また、会計監査人公認会計士菊原進氏及び原田章氏から監査の報告及び説明を受け、計算書類等につき検討を加え、精査いたしました。

2. 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、事業報告書、資金収支計算書(人件費支出内訳表を含む。)、消費収支計算書、貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。)及び財産目録の記載と合致し、適法かつ正確に法人の収支状況及び財政状況を示していると認めます。
- (2) 学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。

以上

独立監査人の監査報告書(写)

平成19年5月28日

学校法人 総持学園
理事会 御中

公認会計士菊原進事務所

公認会計士 菊原進 ㊞

原田公認会計士事務所

公認会計士 原田章 ㊞

私たちは、私立学校振興助成法第14条第3項の規定に基づく監査報告を行うため、昭和51年7月13日付け文部省告示第135号に基づき、学校法人総持学園の平成18年度（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）の計算書類、すなわち、資金収支計算書（人件費支出内訳表を含む。）、消費収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）について監査を行った。この計算書類の作成責任は理事者にあり、私たちの責任は独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私たちに計算書類に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類の表示を検討することを含んでいる。私たちは、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

私たちは、上記の計算書類が、学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）に準拠して、学校法人総持学園の平成19年3月31日をもって終了する会計年度の経営の状況及び同日現在の財政状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

学校法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上